

平成22年度 事業報告

岡山理科大学附属中学校

中高六年一貫教育により勉強と課外活動を両立させながら、六年後は全国のトップ大学および医歯薬獣系大学、関連大学へ進学させることを通じて、日本社会各分野のトップリーダーとなる人材を育成する。



中高六年一貫制による思い切った先取り教育に加え、①自習支援室（チューターによる支援強化）②トワイライト・セミナー（学外有力講師による大学受験指導）、の充実により、生徒一人ひとりに対するキメ細かいフォローを行い、超難関大学・医歯薬獣系大学への進学実績を向上させます。課外活動（部活動・生徒会）を活発化させ、健全な体力と充実した気力を兼ね備えた、バランスの取れた人間形成をはかる人づくり教育 Human Education を充実します。

岡山理科大学の支援により、理科実験を大幅に充実させることにより、理科教育に力を入れていきます。小学生向けの理科実験教室を定期的で開催し、「理科教育の理中」の特長を伸ばしていきます。

岡山理科大学附属中学校 校長 新倉 正和

教育の充実

■MEDICALクラス、PREPクラス

3年生から、学力強化を図るため、MEDICAL（医系進学）クラスとPREP（難関大学進学）クラスのクラス分けを行い、学力上位層の強化および下位層の底上げをはかりました。生徒一人ひとりに対するキメ細かいフォローを行った結果、3月卒業の第4期生は、全員希望通りの、難関国立・私立大学への進学、そして本校初の東京大学現役合格を果たす事ができました。

■「理科教育の理中」の特長の強化

岡山理科大学基礎理学科理数系教員コースおよび科学ボランティアリーダーGPの教育・活動の一環として、院生・学生を定期的に派遣してもらい、理科授業の中における実験の回数を大幅に増加させ、理解度向上をはかりました。

また、課外活動において、科学部やロボット研究部を立ち上げ、昨年を引き続き、学会やロボコンへの参加・受賞を目指しました。

■人づくり教育 Human Education

知力を重んじる傾向が強い現代世相の中で、知・徳・体の調和の取れた優秀な人材を育成することが重要であり、Human Education の強化を再認識すべき時と考えます。関連校の実施状況を参考に、今年度より新しいHuman Education の試みを実施しました。また、位田隆久先生による論語教育にも着手しました。

■チューターによる自習支援室

昨年度に引き続き、放課後、自習支援室を設け、岡山理科大学の大学院生をチューターとして配置し、生徒の質問に答えるなど、学力向上を支援しました。特に、学力下位層については、指名補習も実施し、弱点強化をはかりました。

■学内外有力講師によるトワイライト・セミナー

昨年度に引き続き、高2・高3の学力上位層について、放課後、トワイライト・セミナーを開催し、学内外有力講師による大学受験指導を行いました。これにより、超難関大学・医歯薬獣系大学への進学実績を向上させました。

■イマージョン教育（英会話、芸術科目）

専任ネイティブ教員によるイマージョン教育（英会話、芸術科目）を継続・強化し、生活感覚の中から英語力を強化するとともに、グローバル・スタンダードを持ち、国際社会で活躍できる人材の育成をはかりました。

新規事業

■教育交流協定の締結

昨年度インフルエンザ流行のため中断した南オーストラリアのバンクシャー・インターナショナルハイスクールへの海外研修を再開し、同校との教育交流協定を締結して、相互の交流を深めました。また、同校への海外研修の範囲を拡大する可能性を追求し、継続事業としました。

■校外研修、インターアクト活動の推進

これまで関連大学や関連専門学校への医療分野や芸術分野の研修を実施してきましたが、それに加えて人間力・自発力の向上を目的として、岡山理科大学の教育G Pの支援を受け、牛窓ヨットハーバーにおける段ボール製ボート作りを中心とした「ものづくり自然体験学習」等を実施しました。昨年度から、岡山北西ロータリークラブの支援でインターアクト活動を開始していますが、ミャンマーへの支援活動を継続するとともに、今後の活動支援として老人介護施設「済生会ライフケアセンター」でのケア活動を開始しました。

■新校章（シンボルマーク）

以前使用していた校章は、本校を「附中」と表現していたため、県下の他の附属中学の校章と間違われやすい難点がありました。

そのため、本校を「理中」と表現した新たなデザインに校章を変更し、平成22年度より運用いたしました。



生徒募集

■広報活動

生徒募集活動においては、塾及び小学校との連携をより一層深めるために、実施日を決めて教員が塾及び小学校への一斉訪問を実施しました。8月に開催したオープンスクールでは、実験教室、バレーボール教室、ソフトテニス教室、イマージョン教育の授業、講演会などを組み込むなど魅力ある内容にしました。また、学校案内をはじめ学内発行の新聞やPR冊子を、小学校及び小学校PTA並びに塾や町内会、ロータリークラブ宛にも発送し、学校のPR活動に努めました。体育祭並びに学習発表会の開催の案内も発送しました。町内会、ロータリークラブ等との連携を通して、地域に愛され親しまれる学校づくりに努めました。

■具体的な方策

- ①小学校の重点学区を設けて、学校案内や入試要項を6年生全員に配布しました。
- ②重点塾を設けて、実験教室の案内をひとあし先に配布し、重点塾を対象にした実験教室を行うなど、塾との関係を一層強化する努力を行いました。
- ③入試説明会やオープンスクールで医歯薬系に関する講演会を行いました。
- ④ソフトテニス部のジュニアチームに出向き、指導を行うなどして交流をはかると同時にPRを行いました。
- ⑤岡山シーガルズの河本監督と協力して、スポーツ少年団を回るなど、女子バレーボール部のPRに努めました。
- ⑥美術の授業で牛乳パックから手作りのハガキを作り、出身小学校にオープンスクールや近況報告を行いました。

■入試説明会

7月 5日 (月)	塾対象
9月15日 (水)	塾対象
9月17日 (金)	塾対象
10月 2日 (土)	
10月16日 (土)	
11月 5日 (金)	トワイライト
12月 4日 (土)	神戸、姫路

■オープンスクール

7月30日 (金)	9:30~12:00
8月26日 (木)	9:30~12:00
8月27日 (金)	9:30~12:00

■実験教室

7月30日 (金)	9:30~12:00
8月26日 (木)	9:30~12:00
8月27日 (金)	9:30~12:00
11月 5日 (金)	18:00~19:00

■学校見学会

12月 1日 (水) ~ 3日 (金)
1月20日 (木)

主な行事

4月 9日	入学式
5月29日	PTA総会、授業参観
7月29日	休み前集会
9月 1日	休み明け集会
9月11日	体育祭 (岡山ドーム)
9月30日	前期終業集会
10月4日	後期始業式
11月3日	学習発表会
12月24日	休み前集会
1月8日	休み明け集会
1月21日	百人一首大会
3月18日	義務教育修了式
3月19日	修了式
3月19日	海外研修 3/27まで

学生・教職員数

■在籍生徒数

(平成22年5月1日現在)

学校名	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
岡山理科大学附属中学校	80	45	240	159

(単位:人)

■教職員数

(平成22年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	教員計	事務職員
(1)※	1	14	15	3

※校長は大学教員と兼務

(単位:人)

■卒業生数等一覧

(平成22年度)

区分	修了者	内部 進学者	その他	退学者・ 除籍者	休学者	留年者
岡山理科大学附属中学校	61	40	11	0	0	0

※ 修業年限を超えて在籍している学生数(平成23年4月1日現在)

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

科目	年度	22年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入		85,977	85,158
補助金収入		57,567	54,419
その他収入		4,283	25,353
帰属収入合計		147,827	164,930
基本金組入額合計		0	△ 373
消費収入の部合計		147,827	164,557
人件費		167,348	212,395
教育研究経費		35,843	35,506
管理経費		20,314	18,209
その他支出		0	0
消費支出の部合計		223,505	266,110
